

平成23年度地域管理経営計画等に関する懇談会資料
北海道国有林の主な取組事項等



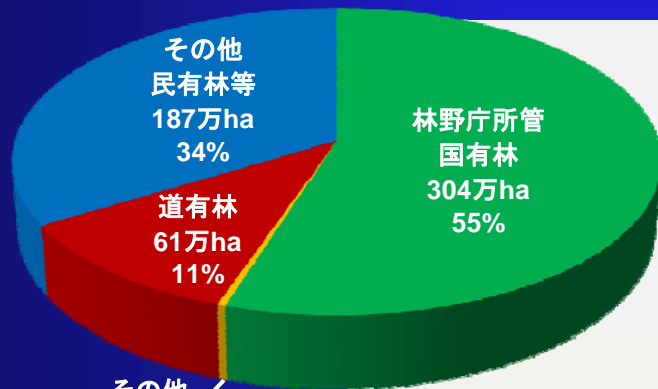
国営林業・国有林

オタドリ沼に写る逆さ利尻富士

森林現況

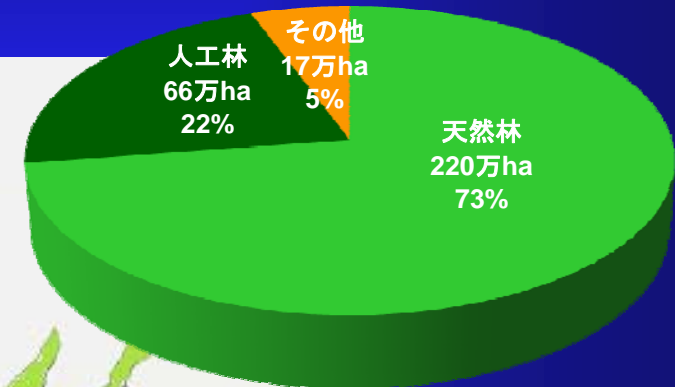
【北海道の国有林の分布】

〔北海道の所有形態別の森林面積〕

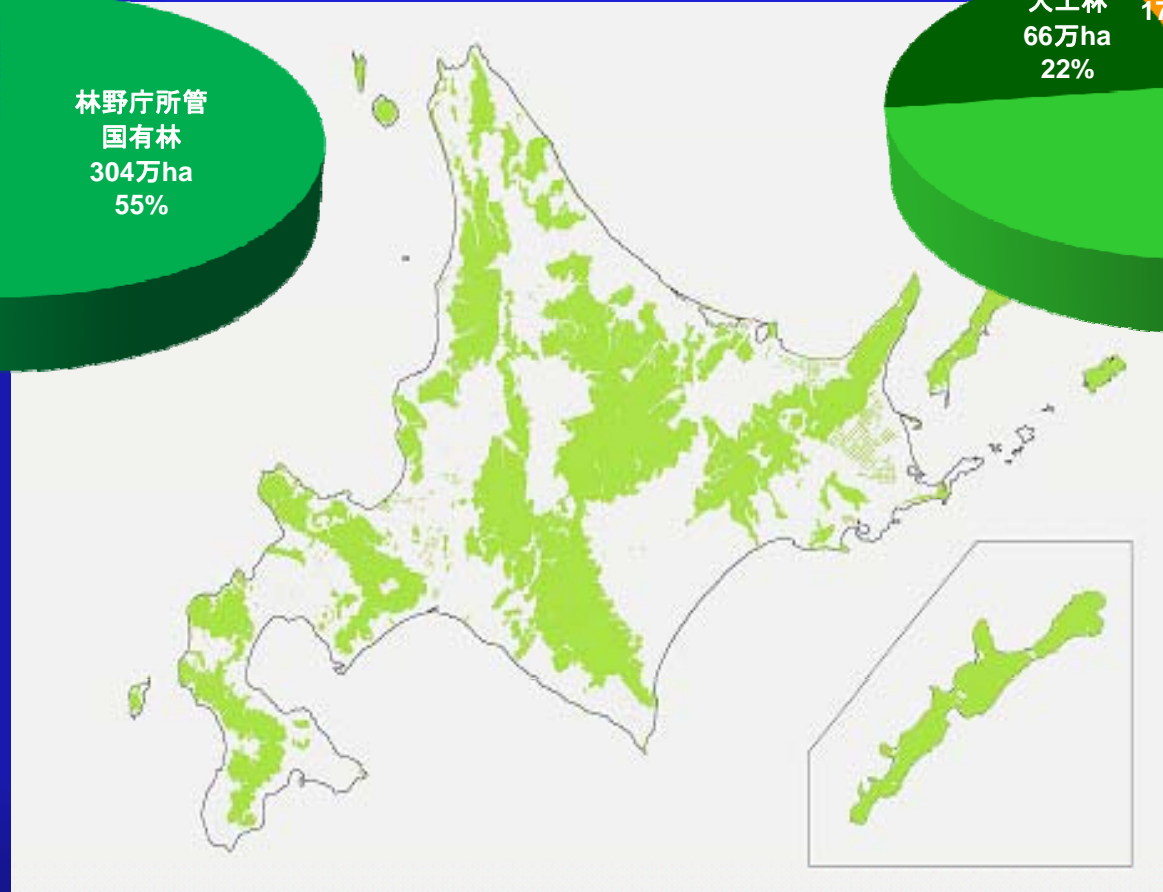


その他 国有林 2万ha 0%
(北方四島含まない。)
(平成22年4月現在)

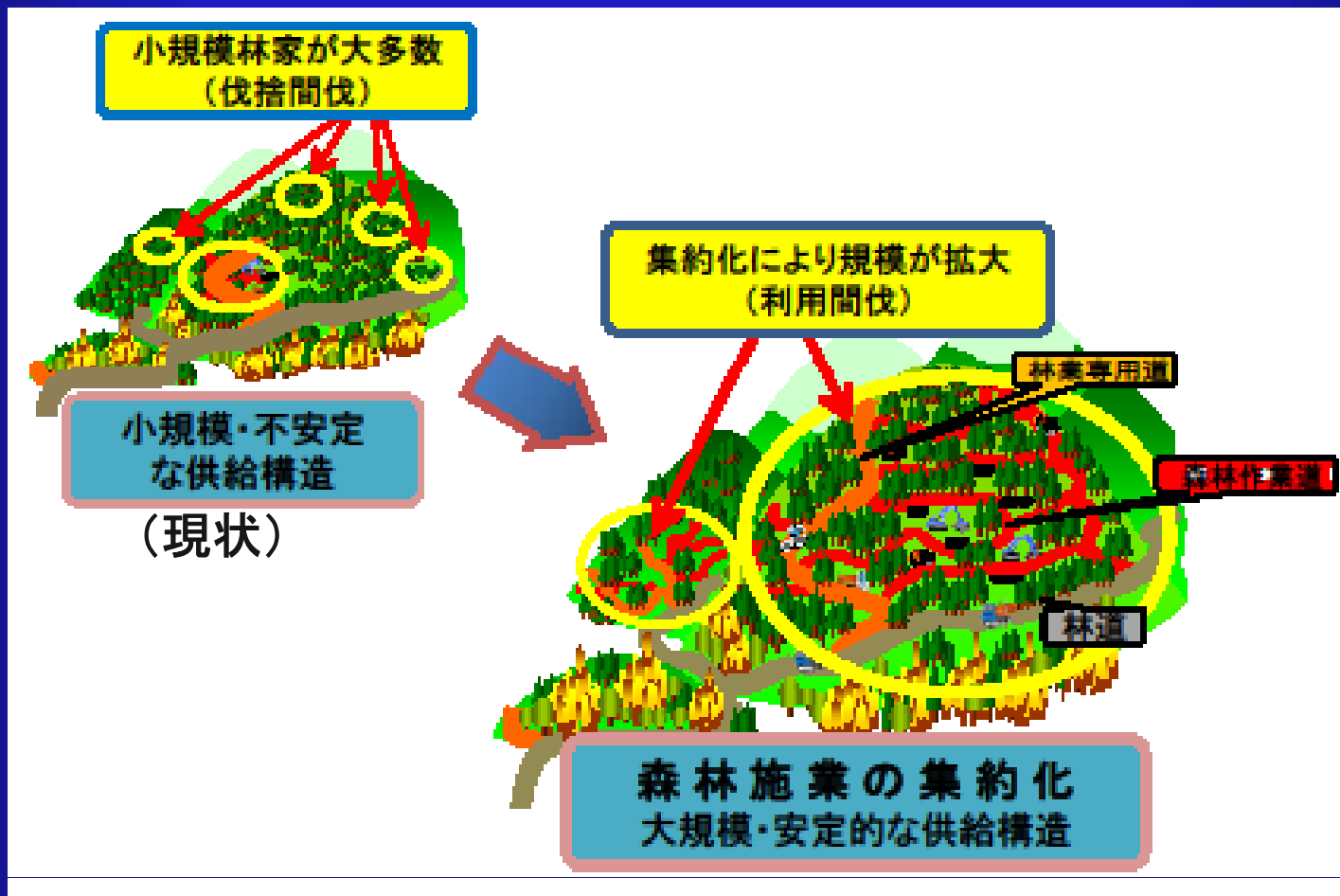
〔北海道国有林の人天別森林面積〕



(平成22年4月現在)



森林・林業再生プランの推進



改革の姿



民有林との連携による森林整備の推進



弟子屈地域森林整備に関する
協定の調印式



厚沢部町清水地域森林整備に関する
協定の調印式

- ・未整備森林の効率的な整備促進を図ることを目的
- ・民有林と国有林の間で協定を締結、森林共同施業団地を設定
- ・路網の整備や間伐等の森林整備を協調して推進
- ・現在、11協定、15団地設定(3月21日に南富良野を設定し12署、16団地)来年度も拡充予定



准フォレスター研修、林業専用道研修の実施



准フォレスター研修(講義)



准フォレスター研修(グループ討議)

- ・昨年7月変更された森林・林業基本計画において国有林は、「国有林の組織・技術力・資源を活用、林業技術の開発普及、人材育成をはじめとした民有林への指導や サポートなど我が国の森林・林業の再生に貢献する。」「国有林の有するフィールド・技術力を活用したフォレスター等の人材育成及び林業技術の開発・普及に率先して取り組む。」とされているところ
- ・北海道森林管理局では准フォレスター研修、林業専用道技術者研修を石狩森林管理署のフィールド、森林管理局の研修施設を利用して実施



市町村森林整備計画等の支援



8月10日 苫前町役場においてゾーニングの設定
研修会でゾーニングの目的・考え方について市
町村職員等に説明
(留萌北部署調整官)



ゾーニング演習の様子

- ・現在、「市町村森林整備計画作成のための作業チーム」が設置された道内168市町村のうち、112の作業チームに職員(準フォレスター等)が参画して支援



低コストで高効率な森林施業の推進



ハーベスタによる伐倒の様子



フォワーダによる集材の様子

- ・簡易で壊れにくい作業路による路網整備
- ・ハーベスタとフォワーダ等高性能林業機械を組み合わせ
低コストで高効率な作業システムによる間伐の普及・定着
- ・管内各地区において現地検討会を実施
(現地検討会 H23 17回参加者636人、森林作業道 H23見込み
118箇所2,094km)



国有林材の安定的な供給



トラックからの積み下ろし作業



工場での製材の様子

- ・低コストで効率的に生産する作業システムで生産される国有林材を安定的に供給
- ・平成23年度 素材(丸太)販売56万m³、立木販売46万m³を予定
- ・安定供給システムによる販売
国有林材の需要・販路の確保・拡大や国産材の生産・流通・加工の担い手の育成に資することを目的、製材工場等の協定希望者からの具体的な取組等の提示を受け企画競争形式により素材の販売を実施
平成23年度 システム販売15万m³を安定的に供給
- ・3月7日システム販売説明会を実施し、56団体、73名が参加



林地残材等のバイオマス利用



林地残材



土場残材

- ・林地残材等の未利用資源を木質ボード、ペレット原料、ボイラー燃料などにバイオマス資源として利用、石炭火力発電で混焼利用する取り組み
- ・上川中部森林管理署管内の間伐実行箇所において、これまでは利用されてこなかった末木枝条など林地残材を集積して木質バイオマスとして活用されるまでの間の作業効率やコスト等の調査を関係者の協力を得て実施
集積したデータは、来年度以降の取り組みに活用



マルチキャビティコンテナ苗の導入



コンテナ苗(トドマツ3年生)

| 森林管理署等 | 胆振東部 | 上川南部 | 技術センター | 備考 |
|----------------------|--------|----------|----------|---------------|
| 傾斜 | 0° | 8° | 16° | |
| 土壌型 | 未熟土 | 適潤性褐色森林土 | 適潤性褐色森林土 | 森林調査簿から |
| 地質 | 火山灰 | 中生層細中粒砂岩 | 安山岩(類) | 森林調査簿から |
| 植生 | 草本 | クマイザサ | チシマザサ | |
| 地拵方法 | 人力、刈払機 | 大型機械 | 人力、刈払機 | |
| コンテナ苗植付工期 ／1,000本 | 1.56人工 | 2.29人工 | 1.94人工 | |
| コンテナ苗平均工期 | 1.93人工 | | | 普通苗の標準工期の約2／3 |

- ・平成23年度秋期植付の一部についてコンテナ苗約3千本導入
- ・森林総合研究所北海道支所との協定を締結してコンテナ苗を使用した造林作業全般の効率化を検証
- ・10月森林総合研究所北海道支所との共同でデータ収集・民間苗木生産者との勉強会を実施、本格的な導入に向け始動



各種事業における間伐材の利用推進



残置式丸太型枠



三角防風柵

- ・地球温暖化防止や資源循環型社会の形成に貢献
- ・森林を整備するだけでなく、間伐材をはじめ木材の利用を推進
- ・森林土木工事において、治山ダムや三角防風柵、残置式の型枠等に間伐材を積極的に使用(約1万3千m³を使用)



災害防止に向けた治山対策の取組み



山腹工(日高南部森林管理署)



木製法枠工(東大雪支署)

- ・豪雨災害に対応するほか、火山噴火や地震等による土石流・泥流、山崩れなど甚大な山地災害を防止し、安全で安心して暮らせる地域づくりに寄与するため、山腹工などの治山施設の設置や森林防災機能を高めるための保安林の整備等を積極的に推進
- ・警戒避難体制の整備などソフト対策の充実に向け、関係機関等と連携監視・観測機器等の設置、地域住民等への防災に関する情報提供を実施



エゾシカ対策の積極的な推進



エゾシカを生体捕獲する囲いワナ



樹木の樹皮食害

- ・森林生態系に及ぼす影響の調査を全森林官により実施
- ・捕獲したエゾシカを食肉として活用するためのシステムの構築に資する「囲いワナ」による生体捕獲の実施
- ・狩猟者を支援するための林道の除雪など様々な対策を実施
- ・北海道国有林においては3月中旬～4月中旬を「エゾシカ一斉駆除促進期間」と位置づけエゾシカ駆除を地元市町村・猟友会と連携の下で実施



生物多様性保全のための取組み



日高山脈(日高町沙流川流域上流)



大雪山系(新得町十勝川流域上流)

- ・特定の生態系を一体的かつ効率的に保全、日高山脈から大雪山系にかけて指定している保護林及び緑の回廊の拡充を実施
- ・平成22年度、地元の方々や学識経験者等から意見を伺い、森林生態系保護地域等の大幅な拡充を実施
- ・平成23年度、奥尻保護林、チリチリ川保護林の拡充を検討



地域住民との協働による自然再生



にしんの森再生プロジェクト



雷別地区自然再生事業地での
ボランティア植樹

- ・「にしんの森再生プロジェクト」(留萌南部森林管理署管内)
- ・「北限のブナ復元プロジェクト」(後志森林管理署管内)の活動を推進
- ・自然再生推進法に基づく自然再生協議会が2箇所設置



森林とのふれあい・教育的利用の推進



ニセコ神仙沼



ポロト自然休養林

- ・道内266箇所「レクリエーションの森」を設定
- ・「ニセコ神仙沼自然休養林」(倶知安町、共和町)をリーディング・プロジェクト、ポロト自然休養林(白老町)などの9箇所をリフレッシュ対策重点実施地区と位置づけ、歩道のバリアフリー化や快適に利用できるトイレの整備を進めるなど、先進的・優良事例として取り組む、他の地区に反映



森林環境教育の推進



サンケベツ遊々の森(苫前町)
での森林教室

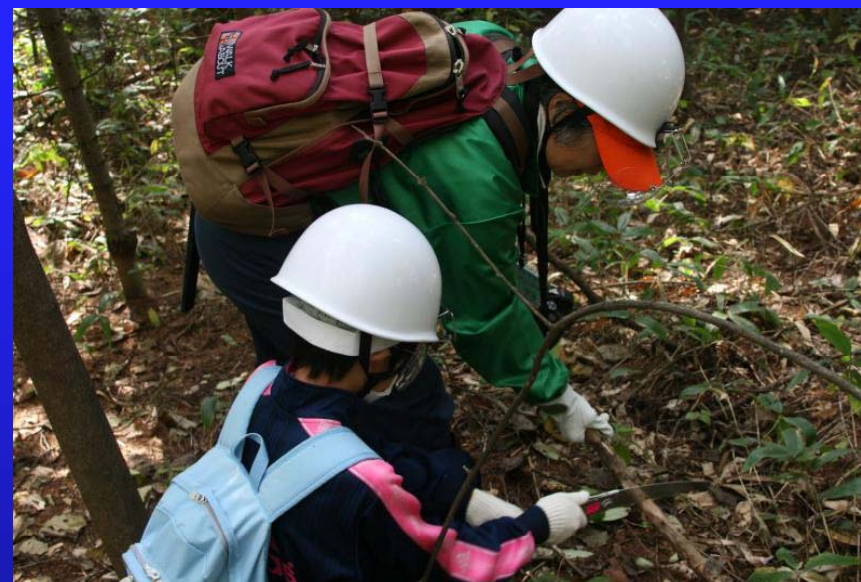


樹名板取付け作業
(羽幌わんぱくの森森林教室)

- ・「遊々の森」は、学校等と森林管理署・支署とが協定を結び、学童に対して継続して植樹等の体験活動、野生動植物の観察など様々な森林環境教育を行うことができる場として国有林を提供
- ・現在、33箇所の「遊々の森」が設定



森林(もり)のつどい2011育樹祭



作業の様子

・森林づくりの大切さへの理解を深め、その活動をさらに推進することを目的に、平成23年10月14日、十勝西部森林管理署管内で「森林(もり)のつどい2011育樹祭」を開催(約270名参加)



北海道森林管理局森づくりイベントリレー



北見地区国際森林年記念
ボランティア植樹



札幌地区 ミュージカル「葉っぱのフレディ」

- ・国際森林年のテーマ「森を歩く」を踏まえ、道内各地で記念イベントをリレー方式で実施
- ・北見地区「国際森林年記念ボランティア植樹～オホーツクの森を歩く～」旭川・帯広・函館と記念植樹等を行い、最後に札幌で「国際森林年記念シンポジウム～森を歩いて感じよう！森林から始まる北海道の未来～」まで各地区で実施



知床における国際森林年の取組み



ポンホロ沼周辺の散策



夏休みに開催した紙すき教室

- ・知床世界自然遺産地域では、森林ボランティア等の活動拠点「知床ボランティア等活動施設」、知床森林センターを活用し、森林環境教育等を推進
- ・平成23年度、ポンホロ沼(自然観察教育林)やオシンコシンの滝上部の原始的な森など、知床の豊かな自然の中を歩く機会を一般市民へ提供

